



●この説明書は必ず組立てされる方にお渡しください。

■組立てされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには以下のような意味があります。

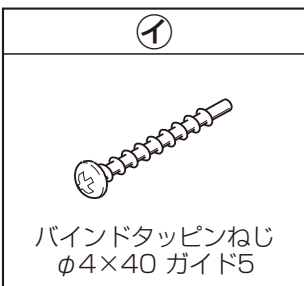
**▲注意** …組立てを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

**▲注意**

- ケガをするおそれがあるため、下記事項をお守りください。
- 必ず専用の樹脂パネル(別売り)をご使用ください。
- ドアを枠に吊込んだ後に、上下ヒンジが、浴室側から見て必ずレールにはめ込まれていることを確認してください。
- ジョイントキャップをジョイント材に、中央縦框キャップを中央縦框に必ず取付けてください。
- 漏水防止のため下記事項をお守りください。
- 縦枠両側に張付けてあるコーキングシーラーが、上・下枠の周りにはみ出すように合わせてからねじ止めしてください。
- 組立てねじは $2.5 \pm 0.5 \text{ N} \cdot \text{m}$  ( $25 \pm 5 \text{ kgf} \cdot \text{cm}$ ) のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキのないように締込んでください。
- 内付枠の縦枠気密材は、下方約7mmはみ出していることを確認し、切らずに組立ててください。
- 内付枠の両面テープは、下枠と縦枠リブに挟み込んだ状態で組立てしてください。

■組立て部品一覧表

■枠組立て用部品



■使用樹脂パネル

呼称	外付		内付	
	07-18	07-20	07-17	07-18
商品コード	D9TZ0134	D9TZ0144	D9TZ0114	D9TZ0124
パネル寸法(mm)	311×816.5(4枚)	311×907.5(4枚)	308.5×772.5(4枚)	308.5×806.5(4枚)

■樹脂パネル寸法割出し公式

公式	外付	内付	枚数
	$(W/2 - 64) \times (H/2 - 92.5)$	$(W/2 - 66.5) \times (H/2 - 102.5)$	

■ドア組立て用部品

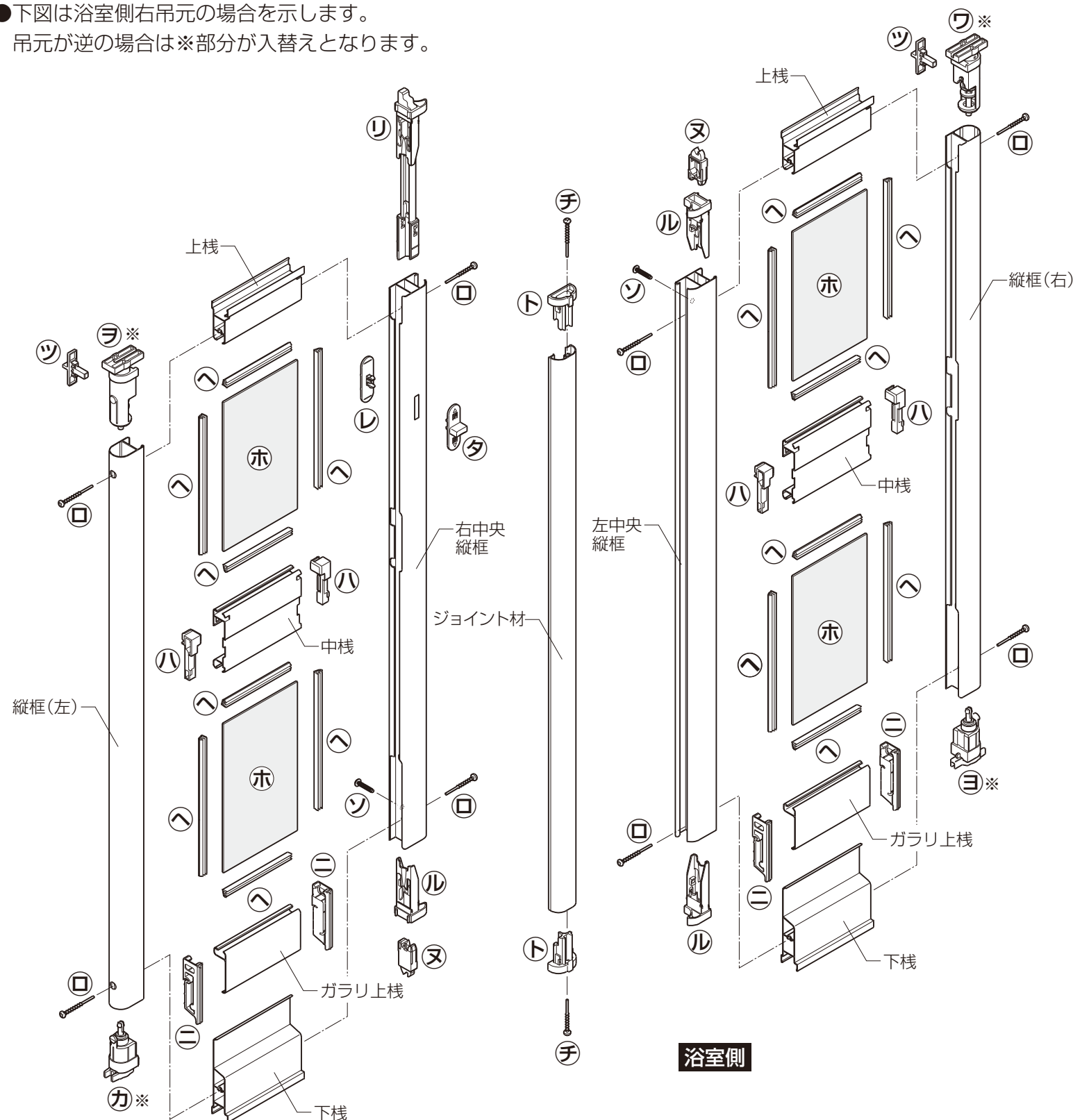
㊦	㊧	㊨	㊩	㊪
ナベタッピンねじ φ4×35 ガイド15 ドア組立て	中棧固定ピース	ガラリ固定ピース	樹脂パネル 別途手配品	後付け樹脂パネルビード
ジョイントキャップ	ナベタッピンねじ φ4×35 ガイド15 ジョイント材固定	ロック	ラッチ	中央縦框キャップ
上ヒンジ 戸先側	上ヒンジ 吊元側	下ヒンジ 戸先側	下ヒンジ 吊元側	ロックツマミ 浴室側
ロックツマミ 脱衣室側	ワッシャー付き トラス小ねじM4×8 ラッチ固定	非常ツマミ		

■お願い

●非常ツマミは、取付け後に外さないでください。部品が破損することがあります。

■構成図

●下図は浴室側右吊元の場合を示します。  
吊元が逆の場合は※部分が入替えとなります。



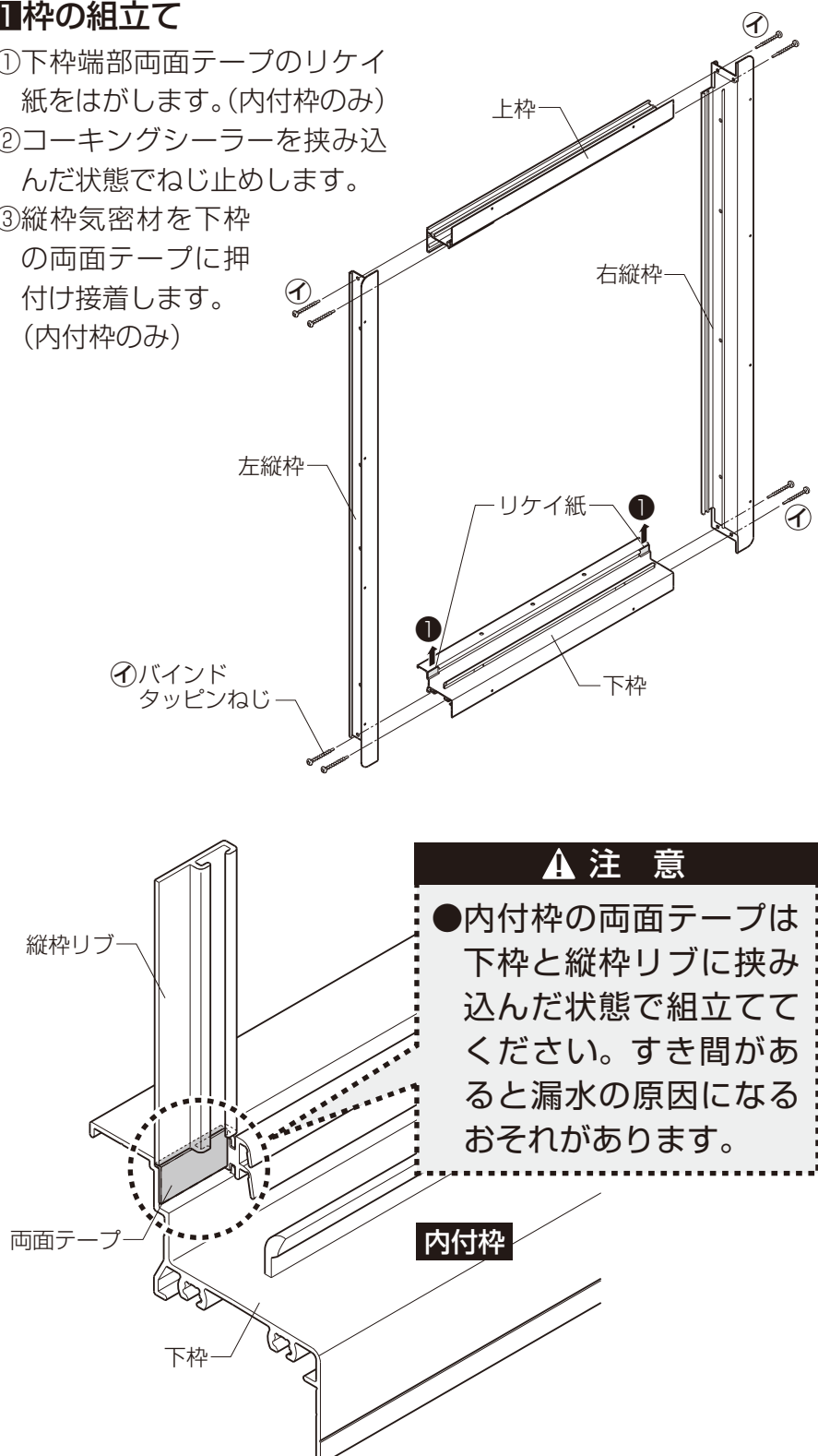
■組立て順序

- 1 枠の組立て
- 2 ドアの組立て

■組立て詳細

1 枠の組立て

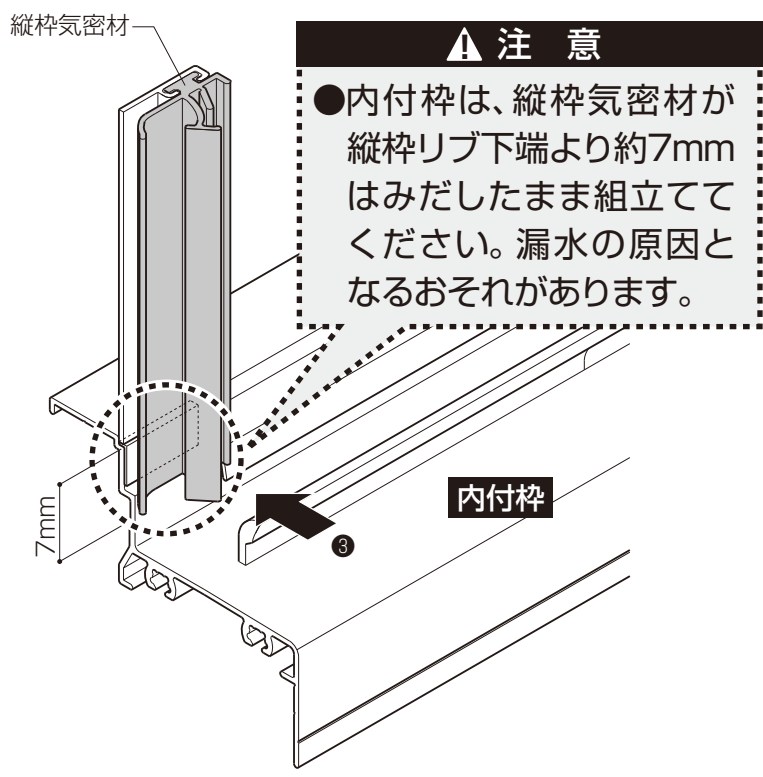
- ①下枠端部両面テープのリケイ紙をはがします。(内付枠のみ)
- ②コーキングシーラーを挟み込んだ状態でねじ止めします。
- ③縦枠気密材を下枠の両面テープに押し付け接着します。(内付枠のみ)



**▲注意**

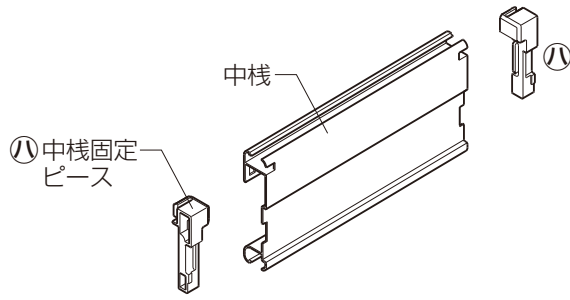
●内付枠の両面テープは下枠と縦枠リブに挟み込んだ状態で組立ててください。すき間があると漏水の原因になるおそれがあります。



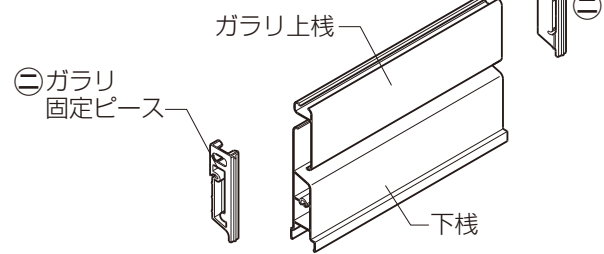


## 2 ドアの組立て

①中棧に中棧固定ピースを差込みます。

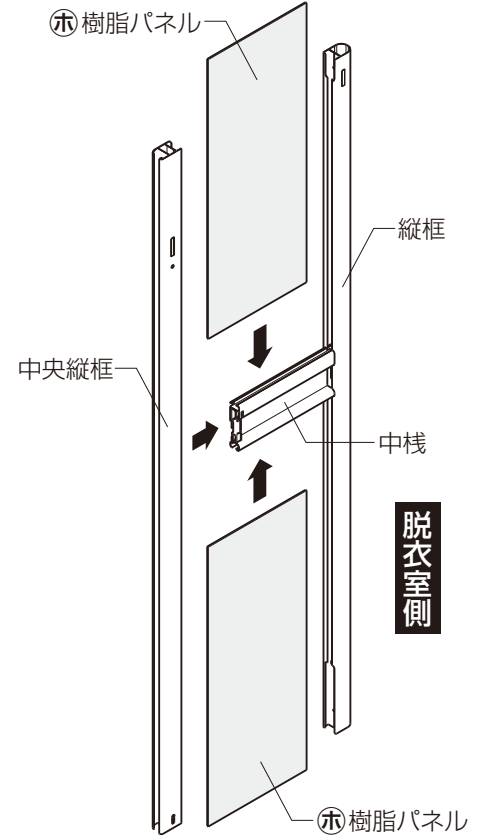
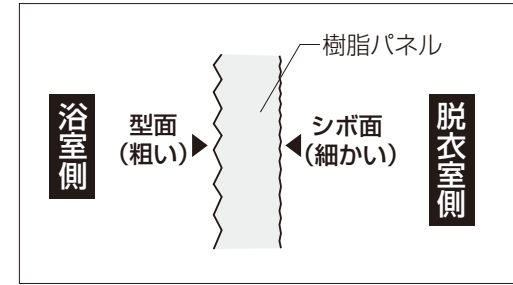


②ガラリ上棧と下棧にガラリ固定ピースを差込みます。

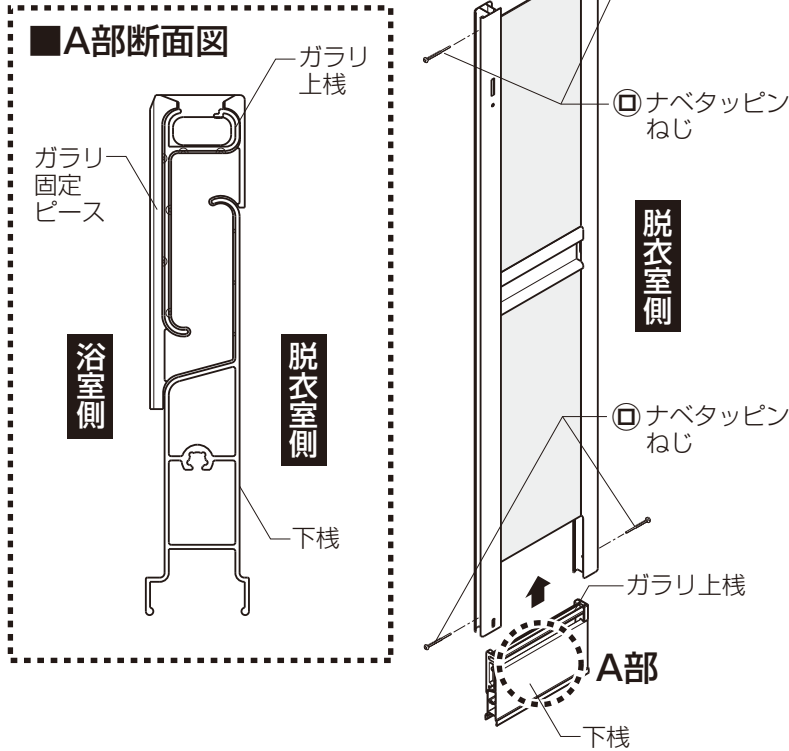


③中棧を縦枠と中央縦枠に“パチン”と音がするまで差込みます。  
※音がしない場合は、中棧固定ピースを縦枠と中央縦枠に“パチン”と音がするまで差込んでください。

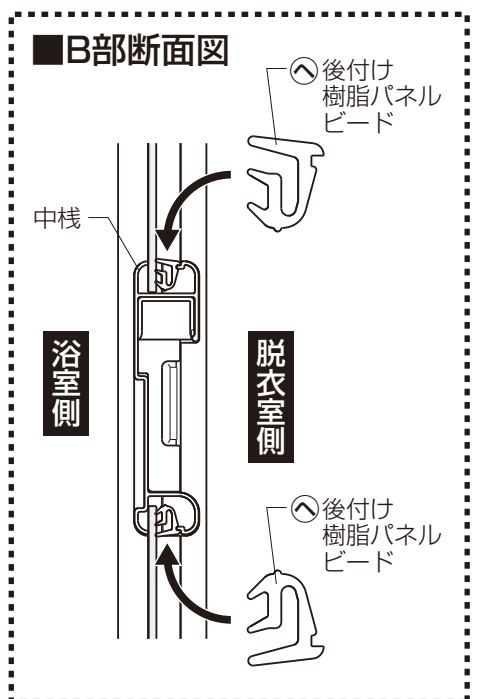
④樹脂パネルの凸凹が深い(目の粗い)方を浴室側にしてはめ込みます。



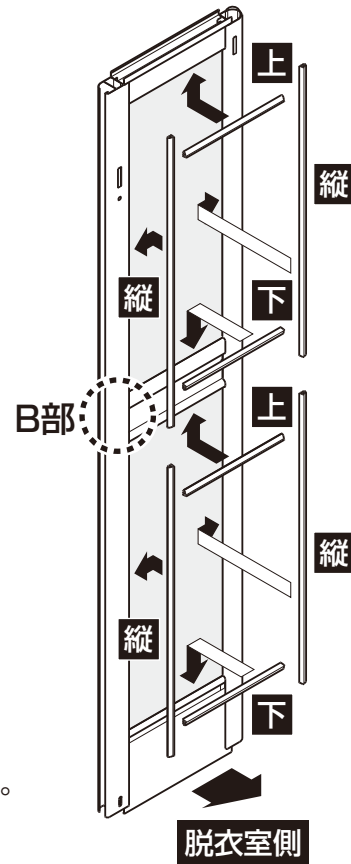
⑤上棧・ガラリ上棧・下棧をはめ込み上棧と下棧をねじ止めします。  
※上棧は、切欠きのある方が浴室側になります。



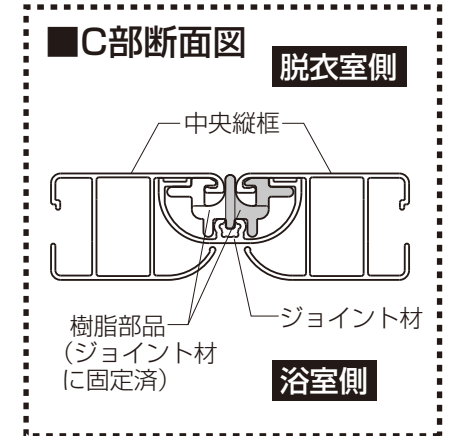
⑥後付け樹脂パネルビードを脱衣室側に「下・上・縦」の順に押込みます。



⑦もう片方のドアも同様に組立てます。



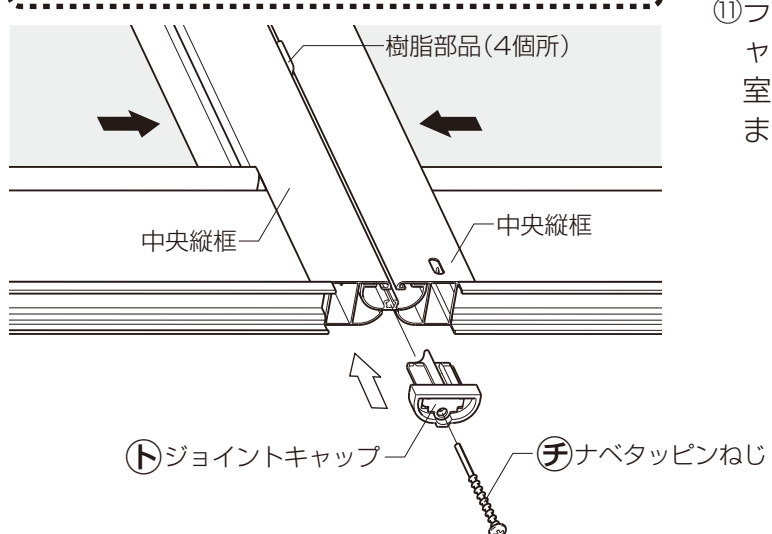
⑧左右のドアは脱衣室側を上向きにし、平らな場所に並べます。中央縦枠にジョイント材を差込み連結します。  
※このとき、ジョイント材にあらかじめ取付いている樹脂部品(4箇所)が、下図のように納まることを確認し、挿入してください。又、ジョイント材の差込み完了後に、左右のドアを折曲げて動作がスムーズであることを確認してください。動作がスムーズでない場合、再度ジョイント材を差込み直してください。



⑨中央縦枠を軽く矢印(→)の方向に手で寄せながら上下にジョイントキャップを差込み、ねじ止めします。

**お願い**

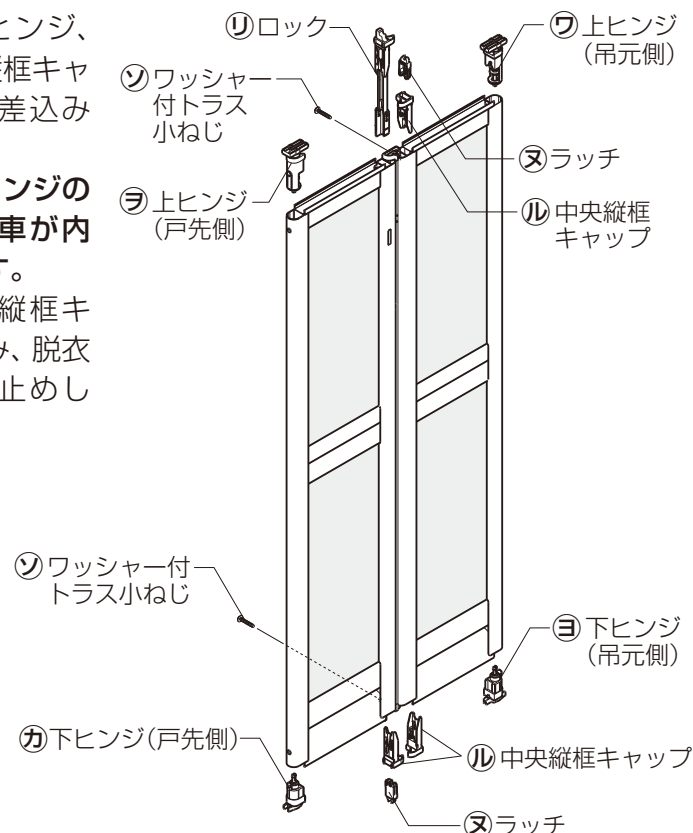
※ジョイント材、ジョイントキャップを差込む際は、ハンマーなどでたたき込まないでください。部品が破損することがあります。



⑩上ヒンジ、下ヒンジ、ロック、中央縦枠キャップを部材に差込みます。

※上ヒンジ、下ヒンジの戸先側には戸車が内蔵されています。

⑪ラッチを中央縦枠キャップに差込み、脱衣室側からねじ止めします。

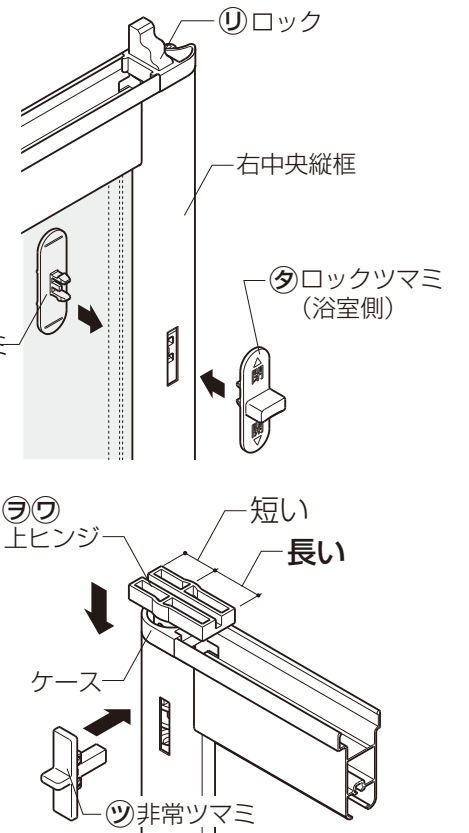


⑫右中央縦枠にロックツマミを取付けます。  
※枠内にある樹脂部品の凸凹に合わせて差込んでください。  
※ツマミの“開”“閉”の文字の向きに合わせて差込んでください。

⑬上ヒンジの向きを、短い方が外側の状態にし、ケースに当たるまで押込んだまま、非常ツマミを脱衣室側から取付けます。

**お願い**

※非常ツマミは、取付け後に外さないでください。部品が破損することがあります。

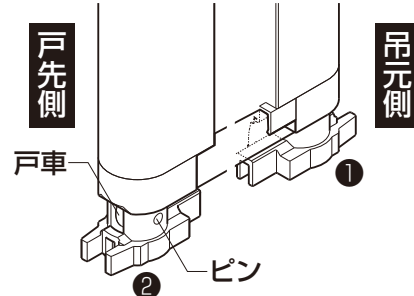


## ■ ドアの吊込み方

- ①下ヒンジの吊元側を右図の向きにして、レール端部の切欠きにはめこみます。
- ②下ヒンジの戸先側を右図の向きにして、レールにはめ込みます。
- ③上ヒンジの向きは左右とも長い方が、両方内向きになるよう回転してください。(右図参照)
- ④上ヒンジの吊元側の非常ツマミを下げてレール端部の切欠きにはめ込みます。
- ⑤ドアを10°以下に閉じた状態で上ヒンジの戸先側をレールにはめ込みます。

## 【上下ヒンジの吊込み時の向き】

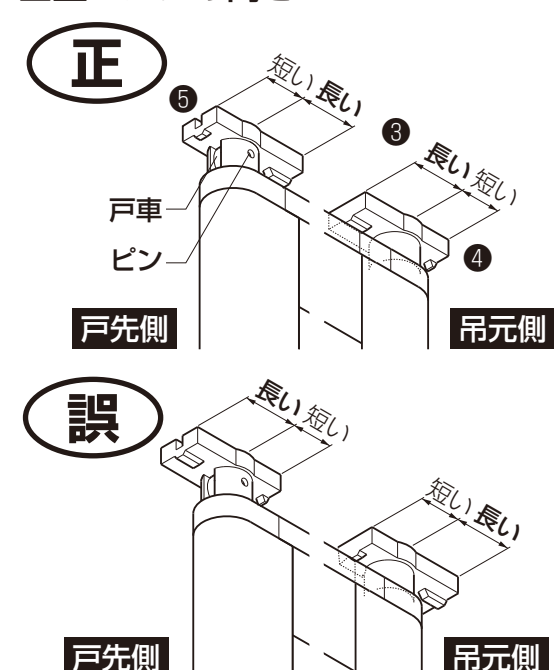
### ■ 下ヒンジの向き



**お願い**

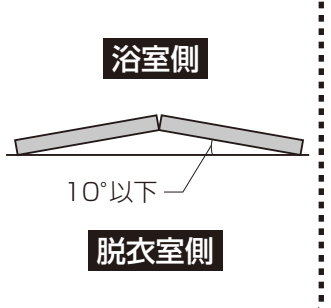
※ドアを枠に吊込む際は、必ず上ヒンジの長い方が両方内向きになっていることを確認してから吊込んでください。  
・非常ツマミで上ヒンジが操作できない状態で無理にドアを吊込むと外せなくなります。

### ■ 上ヒンジの向き



**お願い**

※下ヒンジにはドアをせり上げる機構を採用しているため、完全な開状態ではドアを吊込めません。ドアを約10°以下に閉じた状態で吊込んでください。



## 【非常ツマミで上ヒンジが操作できない場合の対処方法】

- ①上ヒンジの向きを(誤)の状態にし、ケースに当たるまで押込みます。
  - ②押込んだ状態で上ヒンジを180°回転(正)の状態させます。
- ※①、②の操作で、非常ツマミで上ヒンジの操作ができるようになります。

